

ESET PROTECT on-prem V13.0

オンラインヘルプ補足資料

初版

■改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
初版	2026/1/9	初版作成

## ■本書について

- 本資料は、ESET PROTECT on-prem のオンラインヘルプの内容を補完する位置づけの資料です。ESET PROTECT on-prem を使用する際には、下記オンラインヘルプも併せて参照ください。

[https://help.eset.com/protect\\_admin/13.0/ja-JP/](https://help.eset.com/protect_admin/13.0/ja-JP/)

[https://help.eset.com/protect\\_install/13.0/ja-JP/](https://help.eset.com/protect_install/13.0/ja-JP/)

- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本資料の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。本資料の一部または全部を無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- ESET、ESET PROTECT、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Endpoint Security、ESET Server Security for Windows Server、ESET Mail/File/Gateway Security for Linux は ESET, spol. s. r. o. の商標です。
- Microsoft、Windows、Azure は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

## ■注意事項

オンラインヘルプの注意事項を以下に記載します。

オンラインヘルプに記載されている内容と異なる場合、本資料に記載された内容を正とします。

[要件とサポート対象の製品]

- 日本では以下のオペレーティングシステムがサポートされます。

OS	Server	Agent
Windows 10	-	○
Windows 11	-	○
Windows Server 2012	-	○
Windows Server 2012 R2	-	○
Windows Server 2016	○	○
Windows Server 2019	○	○
Windows Server 2022	○	○
Windows Server 2025	○	○
Windows Storage Server 2012 R2	-	○
Windows Storage Server 2016	-	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7 x64	-	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8 x64	○	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 9 x64	○	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 10 x64	○	○
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12 x64	-	○
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 15 x64	-	○
CentOS 7	-	○
Ubuntu 18.04 x64	-	○
Ubuntu 20.04 x64	○	○
Ubuntu 22.04 x64	○	○
Ubuntu 24.04 x64	○	○
Amazon Linux 2	-	○
Amazon Linux 2023	-	○
Alma Linux 9	-	○
Rocky Linux 8	-	○
Rocky Linux 9	○	○
Debian 10		○
Debian 11	○	○
Debian 12	○	○
Debian 13	○	○
Oracle Linux 8	-	○
Linux Mint 20	-	○
Linux Mint 21	-	○
Linux Mint 22	-	○
Mac OS 10.15 Catalina	-	○
Mac OS 11.0 Big Sur	-	○
Mac OS 12.0 Monterey	-	○
Mac OS 13.0 Ventura	-	○
Mac OS 14.0 Sonoma	-	○
Mac OS 15.0 Sequoia	-	○
Mac OS 26.0 Tahoe	-	○

- サポートされている言語は、日本語(日本)になります。

## 目次

1	サポート対象外の内容.....	7
1.1	サポート対象外のインストーラー .....	7
1.2	管理対象外の製品.....	7
1.3	サポート対象外の機能.....	7
1.4	サポート対象外の ESET ツール.....	8
2	注意点 .....	8
2.1	Linux 環境に導入する際の注意点 .....	8
2.2	ソフトウェアインストールタスクを利用する際の注意点 .....	8
2.3	新規インストール、または旧バージョンからアップデートする際の注意点.....	10
3	自動製品アップデート無効方法 .....	11
3.1	自動製品アップデート無効手順.....	11
4	Linux 環境における MariaDB ODBC ドライバーのサポート廃止に伴う対応 .....	15
4.1	MySQL ODBC ドライバーに切り替えた後にバージョンアップする手順.....	15

## 1 サポート対象外の内容

インストールについては、オンラインヘルプの「インストール処理」の項目を参照してください。ここでは、日本でサポートの対象外となるインストーラーの提供形態や管理対象外の製品、ツール、機能について記載いたします。

### 1.1 サポート対象外のインストーラー

本製品を管理する以下の管理プログラムは日本ではサポートされておらず、ご利用になれません。

- ・ Azure マーケットプレイスに公開されているプログラム
- ・ Virtual Appliances(.ova ファイルなど)で提供されているプログラム
- ・ ISO イメージファイル
- ・ オンラインヘルプに公開されている各種インストーラー

### 1.2 管理対象外の製品

以下の製品を管理することはサポートされていません。

- ・ ESET Mail/Gateway Security for Linux V4.5 以下の製品
- ・ 日本ではリリースしていない製品

### 1.3 サポート対象外の機能

以下の機能は日本ではサポートされておらず、ご利用になれません。

- ・ ESET PROTECT API
- ・ ミラーツールを使用したオフラインリポジトリ

## 1.4 サポート対象外の ESET ツール

以下の ESET ツールは日本ではサポートされておらず、ご利用になれません。

- ・ ESET AV Remover

## 2 注意点

本製品を導入または利用する際の注意点について記載します。

### 2.1 Linux 環境に導入する際の注意点

- ・ Linux 環境に ESET PROTECT on-prem Server を導入する際はインストールオプションのロケール指定を行うことをお勧めします。

ロケール指定を行わない場合、既定では[en-US]となります。「--locale=ja-JP」を指定いただくことで日本ロケールが指定されます。

- ・ Linux 環境に ESET PROTECT on-prem Server を導入する際、ユーザー名とパスワードで MySQL データベースへログインできることが必要です。MySQL の認証方式(認証プラグイン)が「auth\_socket」などパスワードを使用しない方式になっている場合、パスワードを使用する方式に変更してください。

[https://help.eset.com/protect\\_install/13.0/ja-JP/linux.html?component\\_installation\\_server\\_linux.html](https://help.eset.com/protect_install/13.0/ja-JP/linux.html?component_installation_server_linux.html)

- ・ deb 形式の ODBC ドライバをインストールする場合、以下のコマンドでインストールすることが可能です。

例：apt install ./mysql-connector-odbc\_9.3.0-1ubuntu24.04\_amd64.deb

インストール後は ODBC ドライバの設定ファイル(/etc/odbcinst.ini)に記載されている「DRIVER=」以降のファイルパスが正しいことを確認してください。

ファイルパスの例は以下になります。

例：DRIVER=/usr/lib/x86\_64-linux-gnu/odbc/libmyodbc9w.so

### 2.2 ソフトウェアインストールタスクを利用する際の注意点

ソフトウェアインストールタスクで ESET 製品をインストールまたはアップデートす



る際、既定で「最新バージョンのインストール」にチェックが入ります。チェックが入るとリポジトリに公開されている最新バージョンをインストールします。

明示的にバージョンを指定したい場合、注意が必要です。

クライアントタスク  
タスク > 新規タスク

基本  
設定  
サマリー

リポジトリからパッケージを選択  
ESET Endpoint Security; バージョン11.1.2062.1、日本語言語、WINDOWS

最新バージョンのインストール  
☒ 法的文書に同意している最新のESET保護バージョンのインストールを許可します

ESETサブスクリプション ⓘ

本設定にチェックが入るとリポジトリに公開されている最新プログラムがインストールされる

## 2.3 新規インストール、または旧バージョンからアップデートする際の注意点

新規インストール、または旧バージョンから本バージョンにアップデート後、環境によっては Web コンソール上に以下のメッセージが出力されることがあります。

「データをロードできませんでした：500 The call failed on the server; see server log for details」

上記メッセージが表示された場合、以下 URL の[Fix the "Failed to load data" error]を展開し、「Option1」の対応を行うことで解消が可能です。

<https://support.eset.com/en/kb7088-install-eset-protect-web-console-using-jdk-windows>

該当するエラーメッセージが出力されない場合、対応は不要です。

### 3 自動製品アップデート無効方法

本製品を新規インストールした環境では、「すべて」の静的グループに自動製品アップデート有効のポリシーが適用された状態で作成されます。また、旧バージョンからアップデートした場合でも自動製品アップデートを有効にするように求められます。

ここでは自動製品アップデートを無効にする手順を記載します。

#### 3.1 自動製品アップデート無効手順

本製品の自動製品アップデートを無効にする手順は以下となります。

- ① EP コンソールより[ポリシー]クリックし、画面下部の「新しいポリシー」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the ESET Protect On-Prem console interface. The left sidebar contains a navigation menu with a red box highlighting the 'Policy' icon. The main content area displays a table of policies. At the bottom of the console, there is a red box highlighting the '新しいポリシー' (New Policy) button.

名前	ポリシー製品	タグ	説明
HTTPプロキシ使用	ESET Endpoint		ESET Securi...
HTTPプロキシ使用	ESET Endpoint		ESET Securi...
HTTPプロキシ使用	ESET Endpoint		ESET Securi...
HTTPプロキシ使用	ESET Manage		ESET Mana...
HTTPプロキシ使用	ESET Server/F		ESET Server...
HTTPプロキシ使用	ESET Shared L		ESET Share...
アプリケーションレポート - すべてのイ...	ESET Manage		ESET管理工...
接続 - 60秒ごとに接続(既定の間隔、展...	ESET Manage		エージェン...
接続 - 20分ごとに接続(最大10,000コンピ...	ESET Manage		最大10,000...
接続 - 60分ごとに接続(最大50,000コンピ...	ESET Manage		50,000コン...
全般 - 最大限の保護	ESET Virtualiz		エージェン...
全般 - 推奨設定	ESET Virtualiz		ESET Virtual...
ウイルス対策 - バランス重視	ESET Endpoint		ESET Securi...
ウイルス対策 - 最大限のセキュリティ - ...	ESET Endpoint		アドバンス...

② 名前に任意の名前を入力し、[設定]をクリックします。

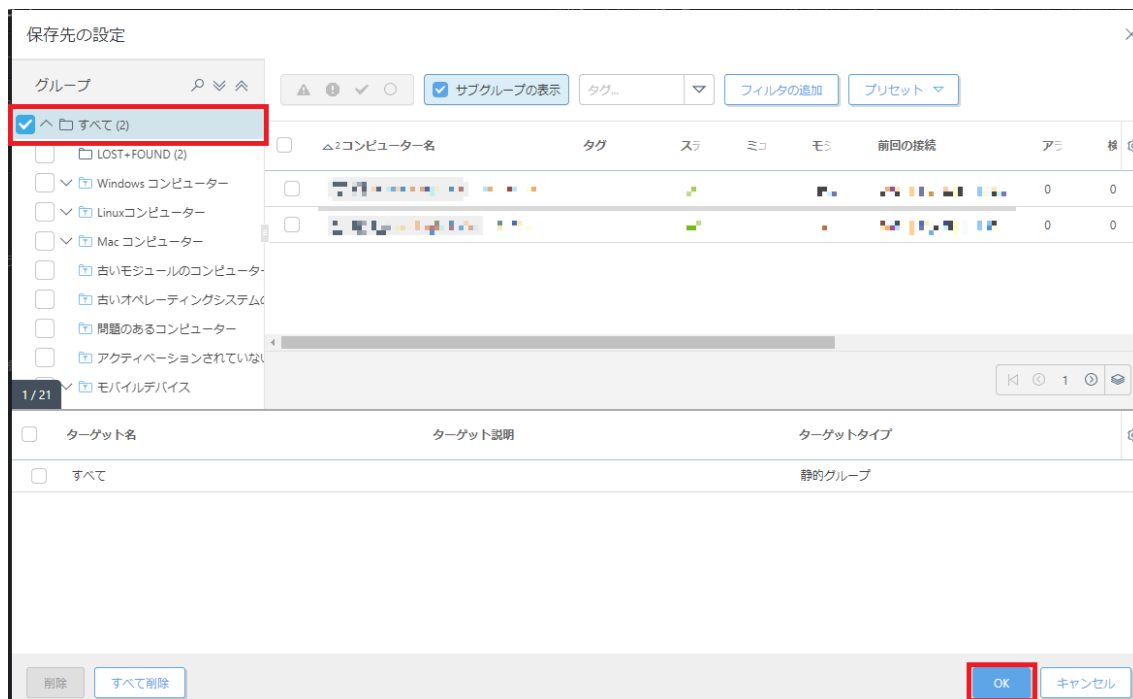


③ [製品を選択...]より「Common features」を選択し、「自動アップデート」のスライダーがオフになっていることを確認して設定を強制し、[割り当て]をクリックします。

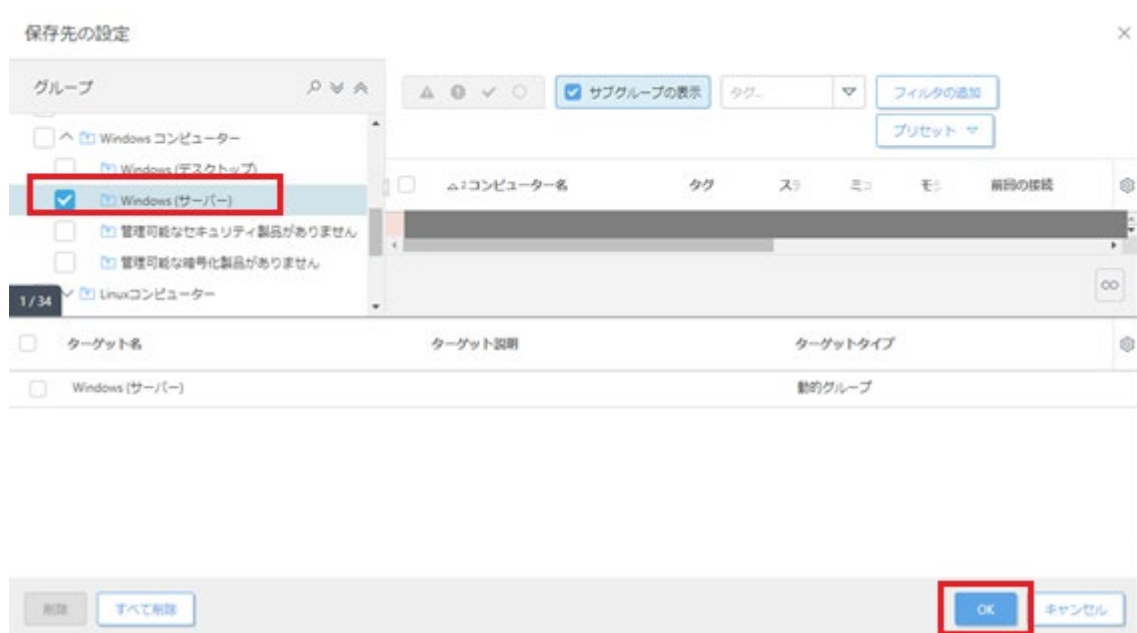


- ④ [割り当て]ボタンをクリックし、[保存先の設定]より自動製品アップデートを無効にしたいコンピューターにチェックを入れ、[OK]をクリックします。

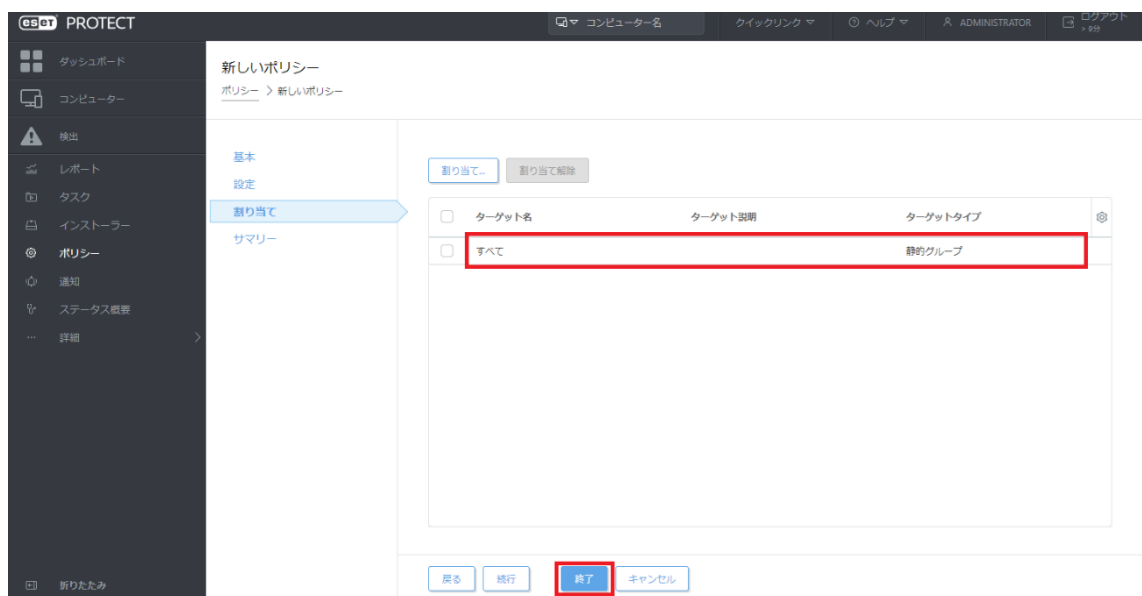
例 1: すべてのコンピューターで自動製品アップデートを無効にしたい場合は、グループ「すべて」を選択します。



例 2: Windows サーバー製品のみ製品自動製品アップデートを無効にしたい場合は、グループ「Windows (サーバー)」を選択します。



- ⑤ [割り当て]画面にてターゲットに「すべて」が入っていることを確認し、「終了」をクリックします。



## 4 Linux 環境における MariaDB ODBC ドライバーのサポート廃止に伴う対応

Linux 環境にて、MariaDB ODBC ドライバーがデータベースコネクタの要件から除外されました。ESET PROTECT On-prem (EPO) 13.0 以降を Linux に新規インストールする場合、データベースコネクタは MySQL ODBC ドライバーを使用してください。EPO12.1 以前のバージョンが導入されている環境で、データベースコネクタに MariaDB ODBC ドライバーを使用している場合、MySQL ODBC ドライバーに切り替えた後に EPO13.0 以降にバージョンアップしてください。

### 4.1 MySQL ODBC ドライバーに切り替えた後にバージョンアップする手順

1. EPO (旧バージョン) が稼働しているサーバーに対し、サポート対象の MySQL ODBC ドライバーをインストールします。

[https://help.eset.com/protect\\_install/13.0/ja-JP/database\\_requirements.html](https://help.eset.com/protect_install/13.0/ja-JP/database_requirements.html)

2. /etc/odbcinst.ini (MySQL セクション) を編集します。

(Description 値は単なる説明欄であり、MySQL の動作に影響を及ぼしません)

- ・ MySQL ODBC 8 ドライバーに切り替える場合

```
[MySQL]
Description=ODBC for MySQL 8
Driver=/usr/lib64/libmyodbc8w.so
FileUsage=1
Threading=0
```

- ・ MySQL ODBC 9 ドライバーに切り替える場合

```
[MySQL]
Description=ODBC for MySQL 8
Driver=/usr/lib64/libmyodbc9w.so
FileUsage=1
Threading=0
```

3. /etc/odbcinst.ini を更新します。

```
odbcinst -i -d -f /etc/odbcinst.ini
```

4. EPO (旧バージョン) のサーバー用インストーラーを実行し、MySQL ODBC ドライバーを読み込ませます。( --db-driver オプションにより、データベースコネクタを MySQL ODBC ドライバーに切り替えたことを EPO (旧バージョン) に認識させます)

```
./Server-Linux-x86_64.sh --locale=ja-JP --skip-license --db-type="MySQL Server"
--db-driver="MySQL"
```

5. EPO13.0 以降のインストーラーを実行（上書きインストール）します。

```
./Server-Linux-x86_64.sh --skip-license
```